

事務事業名	三刀屋総合センター庁舎管理事業		所属部	三刀屋総合センター	所属課	自治振興課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	自治振興グループ	課長名 小林 洋治
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	勝平 誠	電話番号 0854-45-2111 (内線) 4304
	目的対象	A)市民 B)行政機能	意図	公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。		
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化		予算科目	0:1:1:0:0:3 0:5:3:0:0:2	大事業名 市有施設等管理事業 中事業名 庁舎管理事業
目的対象	行政機能	意図	効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
三刀屋総合センター庁舎施設 職員 雲南市民	・職員業務の効率化が図られることにより、来庁者の利便性を高める。 ・各施設の適正な維持管理を行うことにより、来庁者に心地よく施設を利用して頂く。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	三刀屋総合センターの維持管理事業。 R2年度より閉庁日の日直業務(庁舎警備・埋火葬許可等)については会計年度任用職員で対応し、夜間の宿直業務(庁舎警備等)は引き続き委託している。 主たる経費としては、施設管理業務(庁舎警備、電気工作物保守管理他)や光熱水費、電話料等である。
④ 主な活動 R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
庁舎維持管理、夜間休日の庁舎警備、委託料の支払い	三刀屋交流センターと通路が共用であるため冷暖房時の効率が悪いという課題に対し、両施設の話し合いによりR1.7月から業務中も防火シャッターで仕切ったところ冷暖房時の効率が良くなり、電気料を削減することもできた(指定管理料:前年比△500千円)。 身障者駐車場の設置について要望があり、R3.2月に整備した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 維持管理費	千円	7,489	7,032	11,140	13,998
イ 庁舎施設関係の市民からの意見件数	件	1	0	0	0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
・報酬、旅費(会計年度任用職員/庁舎警備)1,851千円 ・需要費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕費)4,353千円 ・役務費(一般廃棄物処理、横公園遊具点検、横公園配管詰まり)78千円 ・委託料(庁舎警備委託、電気工作物保安、電解水保守、防火設備点検)4,723千円 ・使用料(下水道、ケーブルテレビ、インターネット通信料、NHK受信料)119千円 ・賃借料(マット)16千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円			1,152	2,064
一般財源	千円	7,489	7,032	9,988	11,934	
事業費計	千円	7,489	7,032	11,140	13,998	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	大きな施設修繕もなく、効率的な施設管理、予算執行ができ、利用しやすい庁舎の維持管理ができた。
② 事業実施するうえでの課題	今後、施設修繕等の維持管理費については、経費が増大することが懸念されるが、その上で施設の有効活用、住民サービスの向上を図る。 また、閉庁日の日直業務の推移により、本庁舎での対応を検討し費用削減を図る。
③ 課題解決に向けた改革改善等	今後も日頃から工夫できる点について検討しながら、効率的な予算執行に努めていく。 庁舎が国道54号沿いにあり、雲南警察署が隣にあるため、来庁者は増加傾向にあり、今後も更に増加する可能性がある。 市民にとって親しみやすく、明るくて利用しやすい庁舎の維持管理に努めていく。